

平成29年度近畿ブロック老人クラブリーダー研修会

(6月8～9日、堺市 ホテルアゴーラリージェンシー堺)

近畿ブロックの老人クラブリーダーが一堂に会し、共通の課題意識を持ち、これまでの体験や成果を踏まえ、今後の方策を研究討議し、これからの老人クラブ活動に資する事を目的として開催



近畿10府県市老連より285名、
兵庫県老連より21名参加



いきいきクラブ体操



講演



全体会

第1日目

河野 敦子・全老連参事による基調報告

「老人クラブ組織の発展に向けて」と題し、今の社会情勢や老人クラブとしての運動・行動提案等（「100万人会員増強運動」の推進状況や新地域支援事業参画に向けた取り組み、高齢消費者被害防止キャンペーンの推進、補助金の活用等）を報告。

研究討議

「新しい総合事業と地域支え合い運動」をテーマとした第2分科会では兵庫県老連の中村会長（芦屋市）が、座長を務めた。

また、「会員増強運動の成果と課題」をテーマとした第4分科会では県老連の大嶋監事（芦屋市老連会長）が市老連での会員増強への取り組みについて説明。企画活性化委員会の設立や会員カードの発行・サークル活動の充実によるクラブの魅力づくりについて注目が集まった。

第2日目

森下 伸也・関西大学 人間健康学部 教授による講演

「笑いは百薬の長」と題して、笑える体づくり・頭づくり、笑い学会とユーモア療法等について、「狂言笑い」、「文楽笑い」、「虫食い川柳」等の実践を交えながら講演。

全体会

各分科会での研究討議内容を座長が発表し、中保昌・近畿ブロック老連会長が講評。



基調報告 全老連河野参事



第2分科会座長

兵庫県老連 中村会長



第4分科会事例発表者

県老連 大嶋監事（芦屋市老連会長）